

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場会社名 明星電気株式会社
 コード番号 6709 URL <http://www.meisei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(氏名) 上澤 信彦
 (氏名) 小谷 雅博

TEL 03-3814-5115

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	959	53.4	△126	—	△122	—	△125	—
21年3月期第1四半期	625	—	△198	—	△204	—	△207	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△1.13	—
21年3月期第1四半期	△1.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	6,793	2,299	2,299	33.8	18.41	
21年3月期	8,321	2,423	2,423	29.1	19.53	

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 2,299百万円 21年3月期 2,423百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	2,230	△10.6	△294	—	△329	—	△338	—	△3.01
通期	9,100	2.4	635	3.9	540	3.4	520	3.5	4.29

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 116,269,350株 21年3月期 116,269,350株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 222,740株 21年3月期 220,017株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 116,047,784株 21年3月期第1四半期 116,089,062株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績は概ね期初の計画通り推移しており、平成21年5月14日公表の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により上記数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる事項等につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年6月30日）におけるわが国経済は、世界的な景気減速の影響を受け企業業績は振るわず、生産調整等による雇用情勢の悪化、所得減少懸念が継続し消費も低迷しました。政府の大規模な景気浮揚策が実施されることとなりましたが、実体経済に効力が認められるまでには、ある程度の期間を要すものと考えられます。

こうした状況において当社グループは、当連結会計年度のキーワードを「大空に向かって翔こう」と定め、前連結会計年度で定着した黒字基調の事業基盤から更に飛躍できるよう数々の施策を実行しております。具体的には、重点施策として「受注から製品納入までのすべての工程において全社一丸のハーフコスト活動を展開する」や「生産の平準化、効率化を更に推進する」等を実施し、体質強化、生産性向上を図りつつ、年度末に集中が予想される製品の納期を確保し、防災・減災分野の専門メーカーとしてお客様の要求にしっかり応えられるよう取組んでまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比334百万円（+53.4%）増加し、959百万円となりました。損益面につきましては、営業損失は前年同四半期に比べ72百万円減少し126百万円となり、経常損失は前年同四半期に比べ82百万円減少し122百万円となりました。また、四半期純損失は前年同四半期に比べ81百万円減少し125百万円となっております。業績の進捗につきましては、概ね期初の想定通りに推移しております。なお、当社グループの売上高および利益の計上には季節的変動があり、第4四半期連結会計期間に偏る傾向があります。詳しくは3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、6,793百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,527百万円減少（18.4%減少）しました。流動資産における主な増減は、製品の増加49百万円、仕掛品の増加402百万円、現金及び預金の減少484百万円、受取手形及び売掛金の減少1,444百万円、原材料及び貯蔵品の減少49百万円等です。固定資産の減少11百万円は、主に有形固定資産の減少9百万円によります。

負債の部は前連結会計年度末に比べ1,402百万円減少（23.8%減少）し4,494百万円となりました。流動負債における主な増減は、未払金の増加251百万円、支払手形及び買掛金の減少377百万円、短期借入金の減少1,000百万円、未払消費税等の減少116百万円、賞与引当金の減少134百万円等です。固定負債における主な増減はリース債務の増加12百万円、退職給付引当金の減少5百万円です。

純資産は、主として四半期純損失125百万円の計上による株主資本合計の減少により、前連結会計年度末に比べ124百万円減少（5.1%減少）し2,299百万円となりました。なお、前連結会計年度末現在の資本準備金残高4,758百万円は全額を平成21年6月25日開催の当社定時株主総会決議に基づきその他資本剰余金を経由し繰越利益剰余金に振替えておりますが、本件は「純資産の部」の勘定内の振替えであり、純資産合計に変動はありません。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（資金）は、期首残高に比べ484百万円減少し392百万円となりました。（対前年同四半期比では、321百万円の増）

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は534百万円の増加（対前年同四半期比158百万円の収入の増）となりました。資金の増加の主な内訳は減価償却費45百万円、売上債権の減少額1,444百万円、その他の負債の増加額109百万円等であり、資金の減少の主な内訳は税金等調整前四半期純損失121百万円、賞与引当金の減少額134百万円、たな卸資産の増加額402百万円、仕入債務の減少額377百万円等です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金は12百万円減少（対前年同四半期比2百万円の支出の減）となりました。資金の減少は、主に有形固定資産の取得による支出13百万円です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、資金は1,006百万円の減少（対前年同四半期比658百万円の支出の増）となりました。

資金の減少の主な内訳は短期借入金の純減少額1,000百万円、リース債務の返済による支出5百万円等です。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月14日に公表いたしました平成22年3月期の連結業績予想に比べ、当第1四半期連結累計期間の売上高は、通期予想に対しては10.5%の進捗であり、平均的な進捗率に比べますと大きく乖離しております。これは、当社は官公庁への納入割合が比較的大きいことから、年度末に納期をむかえる受注が多く、第4四半期連結会計期間に売上集中する傾向が顕著であり、グループの売上高および利益の計上には、著しい季節的変動があるためです。

損益を含めた業績は、現状において概ね期初の計画通りに進捗しており、平成21年5月14日公表の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理の適用

①当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。

②当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっています。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却額を見積り、簿価切下げを行う方法によっています。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算において、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(工事契約に関する会計基準の適用)

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これにより、売上高は15百万円、売上総利益は3百万円それぞれ増加し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ3百万円減少しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	392,980	877,604
受取手形及び売掛金	1,099,778	2,544,687
製品	189,124	139,176
仕掛品	1,278,339	875,822
原材料及び貯蔵品	560,787	610,633
その他	34,192	24,539
貸倒引当金	△62,603	△63,473
流動資産合計	3,492,599	5,008,989
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	273,190	278,805
機械装置及び運搬具(純額)	112,151	120,362
土地	2,555,836	2,555,836
リース資産(純額)	88,685	74,309
建設仮勘定	6,601	32,884
その他(純額)	213,631	197,836
有形固定資産合計	3,250,096	3,260,035
無形固定資産		
	6,031	6,538
投資その他の資産		
投資有価証券	700	700
長期貸付金	5,206	5,391
その他	73,212	73,683
貸倒引当金	△34,072	△34,072
投資その他の資産合計	45,046	45,702
固定資産合計	3,301,174	3,312,276
資産合計	6,793,774	8,321,266

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,319,377	1,697,111
短期借入金	—	1,000,000
未払金	314,895	63,852
リース債務	23,737	20,056
未払法人税等	12,345	34,675
未払消費税等	4,032	120,495
受注損失引当金	71,144	66,886
製品保証引当金	164,017	163,972
賞与引当金	111,930	246,828
その他	202,821	221,043
流動負債合計	2,224,301	3,634,923
固定負債		
リース債務	61,933	48,975
退職給付引当金	1,226,768	1,231,877
再評価に係る繰延税金負債	981,545	981,545
固定負債合計	2,270,247	2,262,398
負債合計	4,494,549	5,897,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,411,898	5,411,898
資本剰余金	—	4,758,472
利益剰余金	△4,515,392	△9,148,316
自己株式	△28,224	△27,904
株主資本合計	868,282	994,149
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	235	△912
土地再評価差額金	1,430,706	1,430,706
評価・換算差額等合計	1,430,942	1,429,794
純資産合計	2,299,225	2,423,944
負債純資産合計	6,793,774	8,321,266

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	625,656	959,803
売上原価	539,933	784,943
売上総利益	85,723	174,860
販売費及び一般管理費		
役員報酬	17,841	20,560
従業員給料及び手当	122,306	127,042
賞与引当金繰入額	27,875	31,537
退職給付費用	16,895	18,626
賃借料	26,665	24,042
製品保証引当金繰入額	5,673	15,243
その他	67,086	63,829
販売費及び一般管理費合計	284,342	300,881
営業損失(△)	△198,619	△126,021
営業外収益		
受取利息	53	44
受取賃貸料	9,200	9,197
為替差益	3,744	28
その他	3,739	2,857
営業外収益合計	16,738	12,126
営業外費用		
支払利息	9,437	2,395
売上債権売却損	2,112	1,245
長期前払費用償却	5,176	—
株式管理費用	—	2,095
その他	6,088	2,973
営業外費用合計	22,815	8,711
経常損失(△)	△204,696	△122,605
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,016	870
特別利益合計	1,016	870
税金等調整前四半期純損失(△)	△203,679	△121,735
法人税、住民税及び事業税	3,802	3,812
法人税等合計	3,802	3,812
四半期純損失(△)	△207,481	△125,547

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△203,679	△121,735
減価償却費	45,611	45,675
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,012	△870
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,354	△134,898
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△8,853	45
受注損失引当金の増減額(△は減少)	8,816	4,258
退職給付引当金の増減額(△は減少)	21,183	△5,108
受取利息及び受取配当金	△53	△44
支払利息	9,437	2,395
有形固定資産除売却損益(△は益)	—	65
売上債権の増減額(△は増加)	1,883,097	1,444,909
たな卸資産の増減額(△は増加)	△769,463	△402,619
その他の資産の増減額(△は増加)	△12,354	△8,942
仕入債務の増減額(△は減少)	△516,936	△377,908
その他の負債の増減額(△は減少)	△43,425	109,470
小計	406,012	554,691
利息及び配当金の受取額	53	44
利息の支払額	△14,534	△5,003
法人税等の支払額	△15,208	△15,248
営業活動によるキャッシュ・フロー	376,322	534,484
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,200	△13,035
長期貸付金の回収による収入	185	185
その他の支出	△146	△526
その他の収入	48	522
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,113	△12,853
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△70,000	△1,000,000
リース債務の返済による支出	△9,741	△5,934
長期借入金の返済による支出	△268,000	—
自己株式の取得による支出	△439	△320
財務活動によるキャッシュ・フロー	△348,181	△1,006,254
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,028	△484,623
現金及び現金同等物の期首残高	58,871	877,604
現金及び現金同等物の四半期末残高	71,900	392,980

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

当社グループは単一の事業分野で営業活動を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

当社グループは単一の事業分野で営業活動を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

該当事項はありません。

6. その他の情報

【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績は、次のとおりです。

期 間	当第1四半期連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年6月30日)	前年同四半期比
	金 額 (千円)	割合 (%)
計	1,412,269	+2.4

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績は、次のとおりです。

期 間	当第1四半期連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
計	2,109,272	△18.9	3,614,106	△19.4

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりです。

期 間	当第1四半期連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年6月30日)	前年同四半期比
	金 額 (千円)	割合 (%)
計	959,803	+53.4

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

なお、当社グループの事業は単一事業であるため、生産実績、受注実績、販売実績とも事業の種類別はありません。